

醴泉2023 U20アジア陸上競技選手権大会
日本代表選手選考要項

1. 編成方針

本年度におけるU20カテゴリーの最重要競技会と位置づけ、リマ2024 U20世界選手権の成功を念頭におき、参加者全員がメダル獲得をできるよう戦略的派遣を行う。さらに、ジュニア期の育成に配慮した将来性を見込んだ競技者を派遣し、シニア種目強化につなげられるようにする。

2. 開催地

醴泉（韓国）

3. 開催期間

2023年6月4日（日）～7日（水）

4. 開催種目

（1）男子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、110mH(99.1cm)、400mH(91.4cm)、3000mSC、10000m競歩、4×100m リレー、4×400m リレー
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6kg)、円盤投(1.75kg)、ハンマー投(6kg) やり投(800g) 、十種競技

（2）女子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、100mH(83.8cm)、400mH(76.2cm)、3000mSC、10000m競歩、4×100m リレー、4×400m リレー
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(4kg)、円盤投(1 kg)、ハンマー投(4kg) やり投(600g) 、七種競技

5. 参考競技会

- ・2022年度に実施された日本陸連公認競技会
- ・カリ2022 U20世界陸上競技選手権大会
- ・2023年度に実施された日本陸連公認競技会

※ただし、2023年4月下旬予定の選考会議までに終了した大会を対象とする。

6. 選考基準

編成方針に基づき、出場可能枠数に則り、各種目、下記の優先順位で日本代表選手を選考する。

- (1) 本大会のメダル獲得が期待される競技者。
- (2) 本連盟の指定する U20 オリンピック育成競技者で強化育成部が推薦する競技者。
- (3) 将来、日本代表選手として活躍が期待される強化育成部が推薦する競技者。

7. 選考方法

選考基準に則り、強化育成部の選考会議にて選考原案を作成し、強化委員長及び専務理事が承認することにより決定する。

8. 補足

(1) 対象者は 2023年12月31日時点で16歳、17歳、18歳または19歳の2004年1月1日から2007年12月31日生まれの競技者。

(2) 2006年、2007 年生まれのユース競技者が出場できる種目数は最大で個人 2 種目と、いずれかのリレー1 種目までとする。個人 2 種目がトラック種目である場合、200m を超える種目は 1 種目までとする。

(3) 各種目 2 名まで出場可能。ただし、派遣人数はアジア陸連が定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。

(4) 代表選手は、新型コロナウイルスワクチンを接種し、開催国が求める入国条件を満たし、主催者が示すメディカルクリアランスプロトコル (Covid19プロトコル) に従う義務を有する。

(5) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。

- 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
- 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
- 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合

(6) 選考後のトレーニング状況の報告により、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を有する。

(7) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会、選考基準及び選考方法について、専務理事の決定により、変更することができる。

以上